

大垣日大高で書道体験

ドイツ青少年訪問団が交流

真剣な表情で書に取り組みドイツ人
青少年ら＝大垣日大高で



大垣市を訪れている
ドイツ青少年訪問団が
27日、大垣日大高(同
市林町)で、書道を通
じた交流を楽しんだ。

訪問団はシュツット
ガルト市の青少年スポ
ーツ団体から派遣され
た卓球やサッカーなど
の競技選手で、16歳か

ら22歳の男女13人と団
長の計14人。22日に到
着し、31日まで大垣市
内でホームステイする
間に、たらい舟やます
づくりなど大垣ならで
はの文化やポトヤソ
フトボール、なぎなた
なども体験する。両市
は1998年にフレン
ドリーシティになった
のをきっかけに訪問団
が交互に行き来してい
る。

小澤零華さん(2年)
が英語で「書道は日本
の伝統文化です。楽し
んでいってください」と
あいさつ。訪問団の
メンバーは漢字の意味

や書き順を教わり、
「友」「和」「夢」「花」
の5文字から好き
な文字を書いていた。
「夢」を書いたエー
ルマン・アナベルさん
(17)は「とても難しい。
高校生がうなずいてく
れるのでうまく書けて
いるのではないか」と
笑みを見せていた

【山盛均】